

表 4. 2016 年の薬事・食品衛生審議会委員からの利益相反自己申告書との支払データベースとの整合性

特性	FCD	SCD	MRD	PAC*	CP*	全体
委員数	25	27	26	29	43	108
支払いを受けている委員数(%)	13 (52)	18 (67)	9 (35)	14 (48)	17 (40)	51 (47)
自己申告書の総数	3,676	4,446	351	57	0	8,530
過少申告数(%)	172 (4.7)	230 (5.2)	7 (2.0)	0	0	409 (4.8)
議決に影響を及ぼす過少申告数 (%)	10 (0.3)	102 (2.3)	0	0	0	112 (1.3)
公開されていない自己申告書の件数	26	64	0	0	0	90

\*PAC や CP は、各委員会で審議された内容を確認し、監督することが主な業務となる上位組織のため、個々の薬剤の審議はほとんどありません。

FCD (医薬品第一部会)

SCD (医薬品第二部会)

MRD (再生医療等製品・生物由来技術部会)

PAC (薬事分科会)

CP (薬事・食品審議会総会)